

来週の「売り物」記事はこれ



2015年8月28日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

広島原爆 引き継がれる「献水」の願い

30日(日)



あの日、水を求めながら亡くなった人たちにおいしい水を差し上げたい。広島原爆の被爆者、宇根利枝さん=写真=は市内に120カ所以上ある慰霊碑を回り、名水を供え続けました。3年前に93歳で亡くなりましたが、半世紀以上にわたった献水は、鎮魂と平和への思いとともに、宇根さんの後ろ姿を見つめてきた谷安啓さん(37)へ引き継がれました。「天真爛漫で



ゴーイング・マイ・ウエー」な宇根さんと、モヒカン刈りのストリートダンサーである谷さん。一見、似つかわしくない2人。それでも、谷さんは宇根さんに振り回されつつ本当の祖母のようにいたわり、宇根さんは「お手伝いの人」と紹介していた谷さんを、いつしか「後継ぐ人」と呼ぶようになります。そんな2人の慰霊の行脚を描きました。

日曜朝は『S』で始まる——。ストーリーにご期待下さい。

「男のふり」やめた東大教授、安富歩さん

女性の服を着て、ありのままの自分を生きる今の思いを聞く

夕刊2面特集ワイド 31日(月)

経済学者で東大教授の安富歩さんは、体は男性で、心は女性。幼い頃から「なんだか分からない大きな不安」を抱いてきたといいますが、2年ほど前に女性の服を着てみたら「ただならぬ安心感」に包まれたそうです。1年ほど前からは本格的に女性の服を着るようになり、テレビや雑誌でも話題になっています。心と体の性が異なる人や同性愛者など性的少数者(LGBT)への差別をなくし、権利を守っていくことが課題となっている中、安富さんの思いをうかがいます。



「女の気持ちをたずねて」 おんなのしんぶん 31日(月)



人気コラム「女の気持ち」の筆者を訪ね、掲載後の暮らしぶりなどを伝えるコーナー。今回は、大阪編集局の相原洋編集委員が石川県中能登町の林清子さんにお話を聞きました。清子さんは認知症の夫・正典さんと2人で暮らしています。言ったことを数分後には忘れてしまう正典さん。清子さんは、たまにきつくあたってしまう時もあるということですが、「悪かったなあ」と反省することがあるそうです。それは、病気前と少しも変わらない夫の優しさにふれた時です。お二人の穏やかな暮らしぶりをじっくりと描いています。

しょうゆの使い方

くらしナビ面9月4日(金)

4月から塩分の摂取目標量が厳しくなったことやヘルシー志向の高まりから、減塩を心がける人が増えています。このため減塩しょうゆは10年間で消費量が2倍に伸びています。しょうゆは「濃い口」「薄口」「たまり」「再仕込み」「白」の5種類ありますが、その違いについて意外に知らないものです。和食調味料の基本であるしょうゆについてと使い方を紹介します。



住・ユニークな観葉植物をインテリアに

くらしナビ面 25日 (火)



観葉植物を取り入れたインテリアが流行しています。中でも人気なのは、幹にワイヤなどを巻き付け、人工的にねじ曲げてユニークな枝ぶりを楽しむものや、土に根を張らず、空気中の水分を吸収して成長するものなど変わった植物です。観葉植物を額縁の絵のように壁に飾る方法も注目されています。選ぶ品種や飾り方を工夫して、ユニークなインテリアを楽しみましょう。

「伊勢物語」を歩く

朝刊文化面 9月5日 (土)

文学作品の舞台を歩く「名作の現場」はエッセイスト、酒井順子さんが平安時代初期の「伊勢物語」を取り上げます。訪ねたのは東京の隅田川。主人公の男は京の都から、はるか東国へと下りました。男のモデルとされる在原業平の歌にちなんだ場所に立ち、1000年以上の時を経て、田舎から高層建築がそびえる大都会へ変貌した光景に、いにしえの面影を重ねます。



「月刊相撲」スタート

スポーツ面 9月1日 (火)



7月の名古屋場所まで4場所連続で15日間の「大入り」を記録した大相撲。遠藤、逸ノ城ら若手の台頭もあり、若乃花・貴乃花兄弟の「若貴フィーバー」以来の人気となっています。各場所の展望や力士の素顔、過去の名場面など相撲の魅力を紹介する特集を毎月第1火曜日に掲載します。第1回は横綱・白鵬のインタビュー。名古屋場所で35回目の優勝を果たし優勝回数最多記録を更新し続ける孤高の横綱の胸中に迫ります。「おかみさんリレーコラム」は横綱・日馬富士、大関・照ノ富士らが所属する伊勢ヶ浜部屋、「大相撲名場面」は2006年初場所千秋楽の栃東-朝青龍戦でスタートします。「スー女(相撲女子)」も注目の大相撲も毎日新聞でお楽しみください。

小学生新聞

小学生新聞 来週の
"売り物"、記事はこれ！

31日(月)は「ようこそ! 水族館」企画の最終回。滋賀県大津市立伊香立中学校アクアリウム部の活動を紹介します。9月1日(火)は秋の星座を紹介。2日(水)は、ブラインドサッカーに取り組む小中学生の合宿をレポートします。3日(木)は今年の全国の秋まつりを一挙紹介、4日(金)は毎小の驚きの活用法「コラージュ川柳」の魅力にせまります。8月下旬、編集長コラムで政治や大阪の事件について、毎小ではどう取り上げたらよいかを読者に投げかけたところ、読者のお父さんお母さん、子どもたちからご意見がたくさん届きました。5日(土)はこのことについての反響特集を見開きで展開します。

